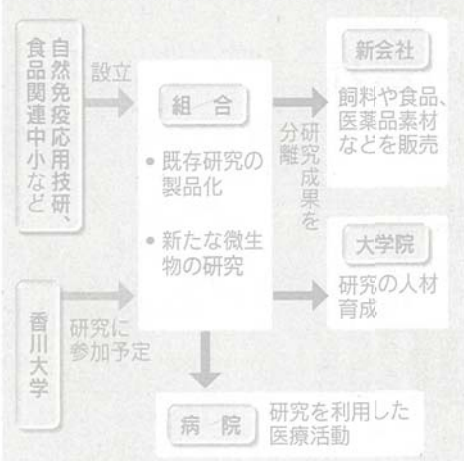


香川技術

進めている微生物の研究を生かした新事業立ち上げを加速する。

自然免疫制御技術研究組合の事業化の流れ

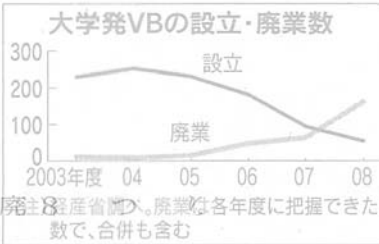


▼技術研究組合 2009年6月の法改正で始まった制度。前身の「鉱工業技術研究組合」の設立条件などを大幅に緩和した。すべての産業技術を対象に、2以上の法人などが定款と研究の実施計画書を作り、主務大臣の認可を受ければ設立できる。法人格を持ち、契約締結や特許登録を組合名義でできるのが特徴。そのまま事業会社にも移行でき、事業化の準備組織に利用しやすい。

技術研究組合

特許権利関係明確に

大学発VBを活性化



研究開発型の大学発ベンチャー(VB)の多くが苦境に直面している。まず組合名義で特許などの権利取得や商談を進められるため、将来のトランザクションが滞りなく進む。大学発VBをバックアップする母体の大学や研究機関も組合に参加可能。特定の研究テーマを

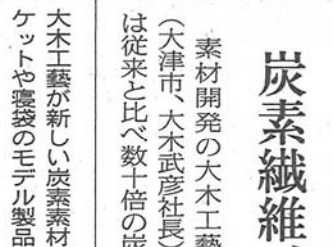
印刷機用ニッセー、金属削らず「転造」

生産コスト1/10

自動車部品の加工機などを製造するニッセー(山梨県大月市、新仏利(社長)は従来品と比べ生産コストを約10分の1に抑えた印刷機用ロールを開発した。強い力で金属を成形させる「転造」と呼ぶ手法でつくる。一般的なロールは金属を削って加工するが、転造の方が短時間で加工でき、材料の無駄も減らせるため、生産コストを抑えられるという。

ロールは印刷物を送り出すと同時に、文字などを印刷する版にインクを供給する印刷機の基幹部品。新型ロールはニッセーが独自に開発した数値制御式の転造加工機で製造する。円筒状の金属に力をかけながら、筒の表面に刻む微細な溝などを造る。円筒の長さ100万分の1の誤差で仕上げ、インクをむらなく塗れるようにする。

長さ1.55メートルのロールなら、約1時間で加工も転造による精密加工の用途開拓を進める。



炭素繊維、保温性高める

大木工業が開発した炭素繊維を含有高密度の炭素繊維を大量に放射し保温性が従来の数十倍の炭素繊維を開発した。遠赤外線への採用を目指し、京都府立医科大学と臨床データの収集を始めた。スポーツ衣料向けの用途も見

シートは価格は1平方メートル1000〜8000円。保温ジャケットや寝袋といったモデル商品をすでに製作しており、医療やスポーツ、アウトドアなど用途別に企業を決定して独占的に販売する。

起業支援のプロジェクト

ニッポン(東京・新宿、松谷卓也社長)は企業の新規事業立ち上げを促すサイトを「プロジェクトニッポン」を開発した。GATEラボを開発した企業は、具体的な事業計画をまとめる。計画案はまずプロジェクトニッポンが審査したうえで、テーマを提示した企業に紹介する。

プロジェクトニッポン 具体的な計画案 募る

テーマを提示した企業は無料で、テーマを提示した企業が計画の発案者に資金提供したり、雇用したりした場合に、資金の一部などを手数料として受け取る。テーマ提示企業を月10社のペースで増やし、初年度100件の事業化を目指す。

七氏800〜1800度で焼成した炭素の粒を射出し、綿菓子を作るように集めてシート状に成型。シートを綿や合成繊維とより合わせた糸を織り、衣類などの製品にする。炭素の粒同士が繋がった構造のため熱の吸収が早く、繊維全体から遠赤外線を放射するという。

マッサーシチュコア大手のファミリー(大阪府、稲田二千武社長)は中国で家庭用マッサーシートを販売する。5月をめぐり、2014年度までに北京や上海などを中心に約1000カ所の販売網を構築する。富裕層の市場を開拓し、15年3月期に中国で30億円程度の売り上げを目指す。

「INADA CHAIR」と名づけた自社ブランドの新商品を中国で発売する。価格は日本円